※令和４年度以降入学生用

学校番号	112

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新編　論理国語」（大修館書店）						
副教材等	改訂版　漢字検定７～２級対応　書きたくなるアシスト常用漢字（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年生では社会人に必要となる基礎的な国語の力を応用できるように心がけましょう。
・論理的な文章に触れ、「読む能力」を向上させるとともに、論理的に「話す能力」や、筋道を立ててわかりやすく意思を伝えるための「書く能力」を身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

（１）実社会に必要な国語の知識や技能を身に着けるようにする。
（２）論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において、理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方を理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・伝統的な及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。	・論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・話し言葉の特徴を踏まえて話をし、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いるなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。	・国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、論理の展開や表現の仕方に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。 ・目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	論理と出会う ［教材］ 「知の登山、知の水路」 「論理的な人」とはどういう人か	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。 b[書]：立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫すること。 c：文章の構成や論理の展開、表現の仕方ついて、書き手の意図との関係において多角的・多面的な視点から評価すうこと。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振返りシート
	具体と抽象 ［教材］ 「ウサギの耳はなぜ長い？」 ［教材］ 「届く言葉、届かない言葉」	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。 b[読]：文章の構成や論理の展開、表現の仕方ついて、書き手の意図との関係において多角的・多面的な視点から評価すうこと。 c：個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が正確に伝わる文章になるように工夫すること。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振返りシート
	対比をとらえる ［教材］ 「対話の精神」	a：常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文章の中で使うことができている。 b[書]：立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫すること。 c：考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振返りシート
	主張をつかむ ［教材］ 「『考える葦』であり続ける」	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえて、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使えている。 b[書]：目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 c：言葉の働きを理解し、読み手がよりよく理解できるように論理展開、情報の分量などを考え、構成・展開を工夫している。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振返りシート

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
2学期	論理的に書く ［教材］ 「根拠をふまえて主張を書こう」 「構成を考えて書こう」 「反論を想定して書こう」	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。 b[書]：立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫す	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート

※令和４年度以降入学生用

		ること。c：言葉の働きを理解し、読み手がよりよく理解できるように論理展開、情報の分量などを考え、構成・展開を工夫している。			振返りシート
	統計資料を活用する ［教材］ 「量の時代から質の時代へ」	a：主張や論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、論理の展開や表現の仕方に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振返りシート
	比べて読む ［教材］ 「紙の本はなくならない」	a：常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文章の中で使うことができている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：自分の考えについて、的確に伝えようとしていたり、話を聞いて、論拠を示して反論したりしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振返りシート
	レポートを書く ［教材］ 「テーマを決め、問いを立てよう」 「情報を収集しよう」 「情報を整理しよう」 「レポートをまとめよう」 ［教材］ 「折々のことば」	a：常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文章の中で使うことができている。 bb[書]：立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫すること。 c：自分の考えについて、的確に伝えようとしていたり、話を聞いて、論拠を示して反論したりしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振返りシート

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
3学期	自己を見つめて ［教材］ 「探求する力」	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。 b[書]：立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫すること。 c：言葉の働きを理解し、読み手がよりよく理解できるように論理展開、情報の分量などを考え、構成・展開を工夫している。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振返りシート
	思考を深める ［教材］ 「ミロのヴィーナス」	a：主張や論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[書]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、陽子や要点を把握している。 c：言葉の働きを理解し、読み手がよりよく理解できるように論理展開、情報の分量などを考え、構成・展開を工夫している。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振返りシート
	視点を変えて	a：常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文章の中で使うことができている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	［教材］ 「人類の進化から考える『心』の誕生」	b[読]：異なる形式で書かれた複数の文章や、図表等を伴う文章を読み、理解したことや解釈したことをまとめて発表したり、ほかの形式の文章に書き換えたりしている。 c：考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えようとしている。	小テスト		ノート 振返りシート
	問いを深めて書く ［教材］ 「問いを立てて書こう」 「文章を読んで書こう」 「統計資料を読んで書こう」	a：主張や論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[書]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、陽子や要点を把握している。 c：言葉の働きを理解し、読み手がよりよく理解できるように論理展開、情報の分量などを考え、構成・展開を工夫している。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振返りシート
	現代を考える ［教材］ 「政治の本質」	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえて、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使えている。 b[書]：立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫すること。 c： 言葉の働きを理解し、読み手がよりよく理解できるように論理展開、情報の分量などを考え、構成・展開を工夫している。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振返りシート
	未来に目を向けて ［教材］ 「人口減少社会の到来」	a：文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 b[読]：自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 c：自分の考えについて、的確に伝えようとしていたり、話を聞いて、論拠を示して反論したりしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　25　）時間

・読むこと　…　（　40　）時間